

これからは…?

見守りと管理

この涵養田・自然観察池は、ビオトープとして今後どのような生き物たちがやってくるか、基本的には自然に任せて見守っていきます。しかし、周囲の雑草が繁茂すれば自然観察の利用も困難になるため、通路の草刈りなどの管理は継続的に必要です。また、外来生物の除去や、ツルヨシやガマなど大型で広い面積を占有する植物の適度な間引きなどの管理も必要と思われます。

大型種

ツルヨシやガマなどは、高さ2m前後と大型になり、地表や地下をはう茎で広がります。そのため、これらの植物が増えすぎると、水面の面積が少なくなったり、日影が多くなったりして他の生きものがすみにくくなってしまいます。

現在は一部の池でツルヨシが半分以上をおおっていて、これからはある程度を残しながら、バランスよく間引いていく必要があります。ガマやコガマも生えてきているので、今後注意が必要です。



ツルヨシ



ガマ

外来種

外国原産の外来種にもいろいろあります。

すでに国内の田んぼなどに広くすみついているアメリカカタカサプロウやアメリカアゼナなどは、1年目にとても多く見られました。しかし、他の植物との競争に弱いのか、2年目からは急に数が減りました。

一方、2年目以降、オランダガラシが侵入しており、今後の増え方次第で除去などが必要になるかもしれません。

大型のアメリカセンダングサやセイタカアワダチソウなどは、定期的な草刈りや抜去等の管理をおこなう必要があります。

外来種のうち、特に繁殖力が強く問題になる国の“特定外来生物”や“要注意外来生物”に指定されている種類が生育していないか、常に注意が必要です。



アメリカカタカサプロウ



アメリカアゼナ



アメリカセンダングサ



オランダガラシ

追跡調査・記録

魚津埋没林博物館や魚津水族館では、この観察田が整備されてから、定期的に生き物の生育・生息状況を調べています。

こうして調べた記録を残していくことで、年ごとの変化や季節ごとの変化が分かります。また、どの生き物がいつごろからすみついたか、いつごろ見られなくなったかななどについても知ることができます。

このようなデータは、この場所の記録という意味だけでなく、他の場所でビオトープなどを整備しようとするときの大変な基礎情報になります。



アキノウナギツカミ



ミズハコベ

上流側から3番目の池での植物の記録例

和名(五十音)	英名	2014.07.18	2014.08.18	2014.09.01	2014.09.21	2015.05.20	2015.07.02	2015.06.18	2015.10.24	2016.06.01	2016.07.23	2016.09.07
アキノウナギツカミ	Akinouwanagitsukami	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
アキノウロザ	Akinourouza			+								
アメリカカタカサ	American water plantain	2-2	2-3	2-3	2-2							
アメリカセンダングサ	American stinging nettle		+	+	1-1	1-1	1-1	1-1				
アメリカアゼナ	American water mint				+							
イヌアザミ	Dog's mercury					+	+	+	2-2	3-3	2-2	2-3
イヌエリ	Dog's-ear	+	+	1-2				1-1	2-2			
イモウタケ	Water violet				+			1-1	2-2			
イヌボウズ	Dog's-tooth violet		+	+							+	1-1
クサヨリ	Ground ivy			1-1								
オバハクチガサ	Oval-leaved water plantain							+				+
オトギリソウ	Pyrola							+				
オモダカ	Carex							+	+			
ガマ	Reed										1-1	2-2
カヤツリグサ	Japanese bellflower			+	+							
カツラスカナ	Spiraea				+							
カタバミ	Water poppy			+	+							
クサカエリ	Water mint			+	+							
クサヨリ	Ground ivy			+	+							
コウガキイセキショウ	Yellow-flowered bellflower						+					
コゴメイセキショウ	White-flowered bellflower						+					
コナギ	Nettle	1-1	1-1	1-1	1-1		2-2	3-3	+			
コブシ	Osmanthus											
コブシヨリカヤツリ	Osmanthus bellflower								1-1			
コブシカヤツリ	Osmanthus bellflower								+			
コブシツバキ	Osmanthus								+			
コブシツバキ	Osmanthus								+			
セイタカアワダチソウ	Japanese stinging nettle					1-1	+	+		+	1-1	
セリ	Leek	1-1	+	+	+	1-2	2-2	2-2	3-3	1-2	2-2	2-2
タマゴヤツリ	Globe amaranth		+	+	+							
ヒヨウジンタケ	Hedgehog cereus											
ソリガシワ	False Solomon's seal											1-1
ソルゴン	Solomon's seal	1-1	1-2	1-1	+	1-2	1-1	2-2	4-4	3-3	4-4	4-4
ソカゼ	False Solomon's seal											
ハッカ	Bayberry								+	+	+	1-1
ヒメクサ	False Solomon's seal								+	+	+	+
ヒメクサ	False Solomon's seal								+	+	+	+
ヒロハハカルピデ	Largeleaf bellflower								+	+		
カタタガ	False Solomon's seal								+			
ホタルイ	Flame azalea	+	+	+	+	1-1		+	+			
マツハイ	Matsumuraea							+	1-2	3-3		2-2
ミノハ	Mimulus	1-1	+	1-1	1-2	1-2	1-2	2-2	3-3	+	1-1	2-2
ミノハコベ	Mimulus		+	+	1-1			1-1	1-1			
ヤブソルアズキ	Wild pea							1-1				1-1
ヨモギ	Mugwort							1-1				
合計	47 種類	8 種類	12 種類	18 種類	24 種類	9 種類	12 種類	23 種類	15 種類	10 種類	11 種類	12 種類

表中の数字は生育量の目安、数字が大きいほど数が多く、おおむね面積が広い。“+”は生育量がわざかなことを表す。名前の横が黄色いものは外来種。